

# 記載例

## 訴 状

該当する事件名の□をレ点でチェックしてください。

事件名 賃料増額 賃料減額 請求事件

訴状の作成日

〇〇 簡易裁判所 御 中 平成 16 年 1 月 5 日

あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送ってほしいか、希望する場所(送達場所)の□をレ点でチェックして届け出てください。以後あなたに対する書類はこの届出場所に宛ててお送りすることになります。

あなたの勤務先に書類を送ってほしい場合には、「勤務先」の□をレ点でチェックし、勤務先の名称とその住所を書いてください。

あなたの住所でも勤務先でもない場所(例えば、あなたのお父さんの家など)に書類を送ってほしい場合には、「その他の場所」の□をレ点でチェックし、「原告等との関係」の部分に「父の家」などとあなたとその場所の関係を書き、その住所を書いてください。

あなたの住所、氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書き、氏名の横にあなたの認め印を押してください。原告(申立人)が会社であるときは、会社の所在地、会社名、代表者の氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書いた上、代表者印を押してください。

被告(相手方)の住所、氏名、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。被告(相手方)が会社であるときは、商業登記簿謄本又は登記事項証明書を見て、会社の所在地、会社名、代表者の氏名を書き、また、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

原告 (申立人)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 住 所 (所在地) 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	氏 名 (会社名・代表者名) 甲 野 太 郎	TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	原告(申立人)に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記住所等 <input type="checkbox"/> 勤務先 名 称	〒 住 所	TEL - -
	<input type="checkbox"/> その他の場所 (原告等との関係)	〒 住 所	TEL - -
	<input type="checkbox"/> 原告(申立人)に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。 氏 名		
被告 (相手方)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 住 所 (所在地) 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	氏 名 (会社名・代表者名) 乙 山 二 郎	TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	勤務先の名称及び住所 〇〇〇〇株式会社 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
		訴訟物の価額	円 取扱者
		貼用印紙額	円
		予納郵便切手	円
		貼用印紙	裏面貼付のとおり

上記の届出場所においてあなたの代わりにあなた宛の書類を受け取るべき人(送達受取人)を届け出る場合には、この□をレ点でチェックし、その人の氏名を書いてください。この届出をすると、以後あなたに対する書類は送達受取人に宛ててお送りすることになります。

被告(相手方)の勤務先の名称や住所、電話番号が分かっているならば、その範囲で書いてください。

この欄は、簡易裁判所の窓口でお尋ねください。



「請求の趣旨」とは、あなたが求める裁判の事です。

何月分から家賃の値上げ(値下げ)をしてほしいのか、家賃の値上げ(値下げ)の申入れをしたときに被告(相手方)に告げた値上げ(値下げ)の月を書いてください。

家賃をいくらにしてほしいのか、既に値上げ(値下げ)の申入れをしているときは、その金額を書いてください。その金額とは、値上げ(値下げ)後の家賃の事です。

被告(相手方)と初めて結んだ契約の内容を書いてください。

その後、家賃が改定されたときは、現在の家賃の額とその額に改定された日を( )内に書いてください。

なぜ今の家賃を改定してほしいのか、該当する□をレ点でチェックしてください(レ点でチェックするのは、いくつでも結構です)。その他の理由があれば、空欄の□をレ点でチェックした上、空欄にその理由を書いてください。

被告(相手方)の言い分や、この紛争について他に参考となることを書いてください。

賃貸建物の固定資産課税台帳登録証明書(通常「評価証明」といいます。)は、申立手数料を算出するために必要です。建物の所在地の市町村役場で交付を受け、この□をレ点でチェックして、訴状と一緒に提出してください。

賃貸建物の登記簿謄本又は登記事項証明書は、訴状に添付する必要がありますので、この□をレ点でチェックして、訴状と一緒に提出してください。なお、建物が未登記であれば、提出する必要はありません。

あなたが被告(相手方)に申し入れた値上げ(値下げ)後の家賃(又は既に支払っている家賃との差額)の申入れをした日から訴えを提起するまでの合計額の支払を求めるときは、この□をレ点でチェックし、その金額を書いてください。

「訴訟費用」とは、申立手数料や裁判所を通じて被告(相手方)などに送った書類の郵便料金や証人に支払う旅費・日当などのことです(弁護士等の費用は含まれません)。

家賃の値上げ(値下げ)を被告(相手方)に申し入れた日を書いてください。

なお、直接口頭で申入れをしたときはその日を、書面で申入れをしたときはその書面が相手方に到達した日を書いてください。

ここに例示されているような証拠書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の□をレ点でチェックして空欄にその書類の名称を記載し、その書類の写し(コピー)を2通作成して、訴状と一緒に提出してください。

	賃料増(減)額
<b>請求の趣旨</b>	1 別紙物件目録記載の建物の賃料は、平成 14 年 10 月 / 日以降 1 か月金 100,000 円であることを確認する。 <input type="checkbox"/> 被告は、原告に対して、金 円を支払え。
<b>紛争の要点(請求の原因)</b>	2 訴訟費用は、被告の負担とする。との判決を求めます。
	1 賃貸借契約の内容 賃貸人 ( <input checked="" type="checkbox"/> 原告、 <input type="checkbox"/> 被告) は、賃借人 ( <input type="checkbox"/> 原告、 <input checked="" type="checkbox"/> 被告) に対し、別紙物件目録記載の建物を次のとおり賃貸し、これを引き渡した。 (1) 契約日 平成 5 年 10 月 / 日 (2) 賃貸期間 <input type="checkbox"/> 年 <input checked="" type="checkbox"/> 年 〇 月 〇 日 (3) 賃料 1 か月金 70,000 円 (平成 9 年 10 月 / 日から1 か月金 80,000 円)
	2 賃料改定の理由 <input type="checkbox"/> 固定資産税その他の負担が( <input type="checkbox"/> 増えた。 <input type="checkbox"/> 減った。 ) <input type="checkbox"/> 土地や建物の価格が( <input type="checkbox"/> 高くなった。 <input type="checkbox"/> 低くなった。 ) <input checked="" type="checkbox"/> 付近の建物と比較して賃料が( <input type="checkbox"/> 高い。 <input checked="" type="checkbox"/> 低い。 ) <input type="checkbox"/>
	3 賃料改定を申し入れた日 平成 14 年 8 月 / 日
	その他の参考事項 被告は、平成 14 年 10 月分から毎月 8 万円を 〇〇法務局に供託している。
<b>添付書類</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 固定資産課税台帳登録証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 登記簿謄本又は登記事項証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 内容証明郵便 <input type="checkbox"/> 配達証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 調停不成立証明書 <input type="checkbox"/>